

石油製品の価格動向について

平成18年6月19日
生活環境部
総務企画グループ

1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、6月15日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

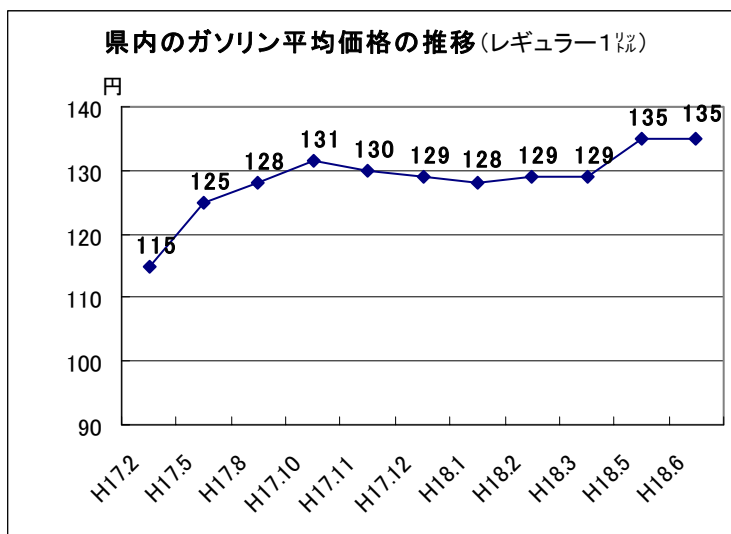
品目名	規格・容量	店舗形態	5月調査の 平均価格	6月調査の 平均価格	対前月比
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	135	135	100.0%
		セルフ	131	132	100.8%
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	113	113	100.0%
		セルフ	109	110	100.9%
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,385	1,403	101.3%
		セルフ	1,335	1,344	100.7%
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,484	1,496	100.8%
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,644	6,600	99.3%

- ◎ 原油価格の高騰を受けて全ての品目において価格が上昇した5月の調査結果と比較すると、ガソリン、軽油はほぼ横ばいとなっており、また、灯油については小幅ながら上昇傾向にあり、LPガスも高水準で推移している。今後も、原油価格が高水準で推移する見込みであることから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

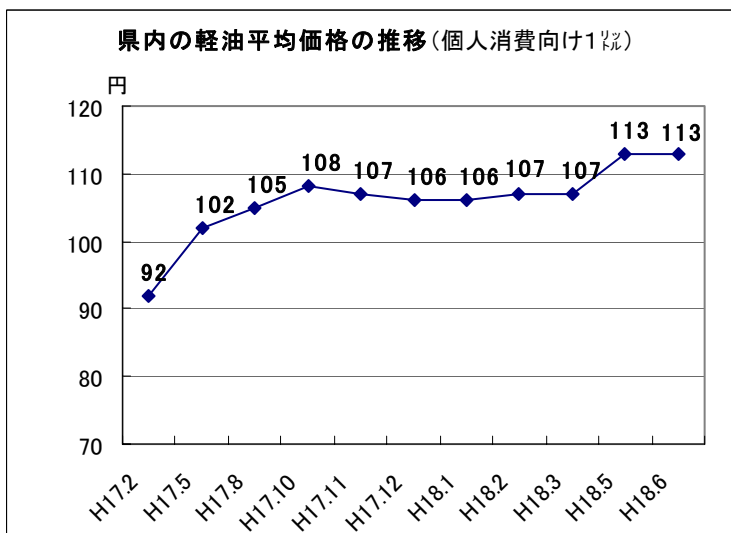
※ 一般店舗価格



◎ 5月は主要元売会社が仕切価格を大幅に引き上げたことを受け、大幅な上昇となったが、6月は135円と、前月横ばいとなった。今後も、原油価格が高水準で推移する見込みであることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

(2) 軽油価格

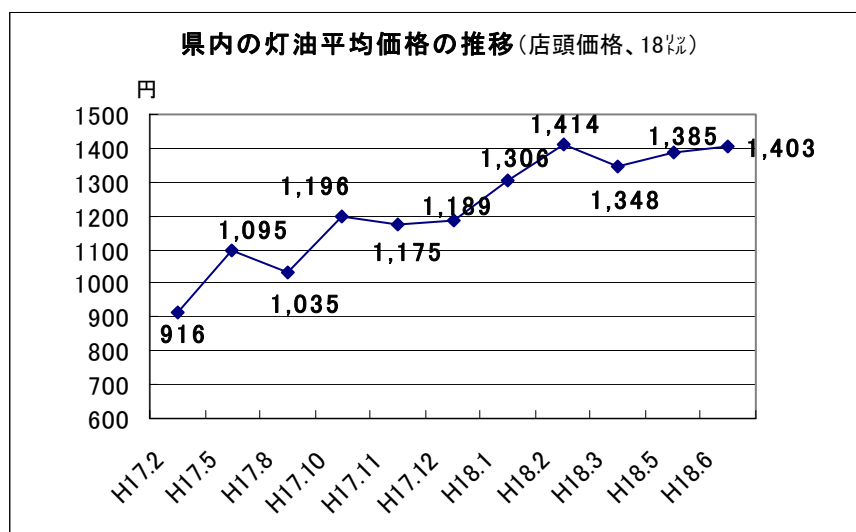
※ 一般店舗価格



◎ 5月は主要元売会社が仕切価格を大幅に引き上げたことを受け、大幅な上昇となったが、6月は113円と、前月横ばいとなった。今後も、原油価格が高水準で推移する見込みであることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

(3) 灯油価格

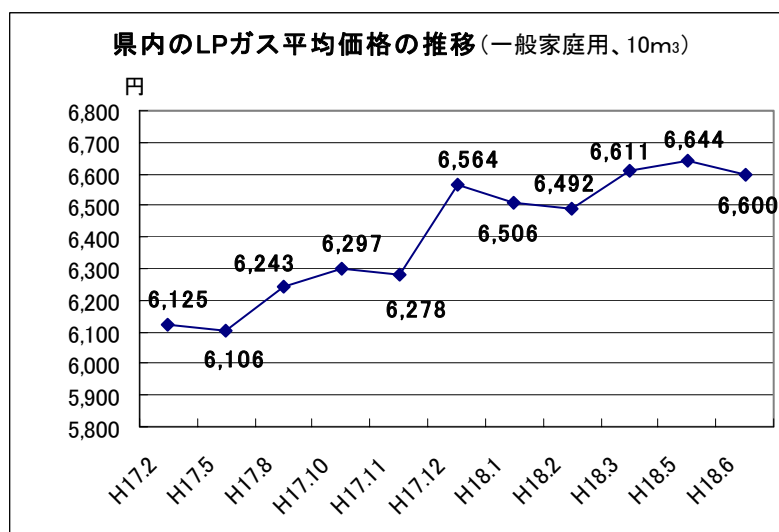
※ 一般店舗価格



◎ 今年2月以降シーズンが終了間近であることを受け値下がり傾向にあったが、5月は原油価格の高騰を受け、ガソリン等に比べて小幅であるが再び上昇に転じ、6月も上昇傾向を続けている。

(4) LPガス価格

※ 一般店舗価格



◎ 6月は6,600円と前回調査時よりわずかながら値下がりしたものの、昨年12月以降、依然として高水準での推移が続いている。今後も原油価格等が高水準で推移することが想定され、また、日本にとって最大のLPガス供給国であるサウジアラビアの国営石油会社の船積み価格(プロパン)が依然として高水準で推移していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。